

けんびワークショップ【西条市】

～作品鑑賞や様々な創作活動を通しての発見～

◆活動の目的・理念

- 芸術作品の鑑賞を通して、自分の意見を発表し、自分の意思表示ができるようになる
- 子どもの豊かな感性や表現力を養う
- 使ったことのない道具や材料を体験し、制作することの楽しさを味わう

活動場所	中央公民館	対象学校区名	西条市内全域	子どもの平均参加人数	18 人/日
開催日数 曜日・時間	土曜日 日・休業日等	9 日 日	13 : 30 ~ 15 : 30 : ~ :	活動のべ 日数	9 日
協働活動サポーターのべ人数	人			ボランティア のべ人数	9 人
参加者募集	広報さいじょうに掲載 小学校を通じてチラシを配布	連携・協力 機関・団体	愛媛県美術館学芸員		

取組の概要

＜主な取組内容＞ (1) 段ボールで遊ぼう (2) アートゲーム (3) 藍染め (4) 対話型鑑賞プログラム (5) モノタイプ版画 (6) 新聞紙で遊ぼう (7) 大きな風船 (8) アートゲーム



たくさんの段ボールの山が・・・



● 段ボールで遊ぼう

ロボットの大軍に変身して、公民館は大騒ぎでした。



● アートゲーム

美しいカードを使って。みんなで「先生がお話しているカード」を見つけます。



● モノタイプ版画

アクリル板に描いた絵がそのまま版画になりました。



● 大きな風船



ビニール袋を切ったり、貼ったり、絵をかいいたり・・・大きな風船ができました。

● 藍染め



袋を藍で染めました。私のタカラモノです。

児童・生徒の感想

- ・バッグを(藍で)染めて作るのが楽しかった。今度は違う染め方で作りたい。
- ・段ボールはちょっと難しかったけど、ロボットができてよかった。
- ・いっぱい新聞紙をつなげて、どこまで行けるかまたやりたい。家でも。
- ・アートゲームの絵探しをしてうまく当てたことがうれしかった。
- ・モノタイプ版画でみんながきれいな絵を描いてすごかった。
- ・みんなで大きな風船を作りあげたことは、とてもいい思い出になった。
- ・段ボールを切るのは難しかったけれど、上手にできてよかった。版画ではグラデーションや色合いに注意してきれいにできた。

＜特色ある取組＞

- 芸術活動、鑑賞のプロが考えたプログラムのため、新しい体験が多い。
- 一般では手に入れにくい材料を使って制作ができる。

事業を実施して

【成果】

- 新しい体験に心を躍らせ取り組んでいる様子が見られる。

【課題】

- 活動後の振り返りとして、意見を発表する場を設け、活動の幅を広げる。
- 作品を発表(展示)し、一般の人にも活動を広報する。